



グラハム・クラーク (Graham Clark)

グラハム・クラーク氏はアジア・アフィニティー・ホールディングスの最高責任者である。当該企業は香港に本社を置き、日本、シンガポール、マレーシア、インドネシアの子会社と協力しながら多様な金融サービスを提供している。

彼はイギリスの主要な保険ブローカーの一員としてキャリアを開始し、1974年に日本に配属された。以来アジアに本拠を置き、およそ44年にわたり日本、タイ、マレーシアにて保険仲介業務を推進し、シンガポールにおいて現地大口企業向け保険仲介事業に携わった。

2000年に独自のビジネスを立ち上げ、アジアにおける金融サービス部門へのアウトソーシング、カスタマーサービスセンター構築コンサルティングなどに焦点を当てたサービスを提供している。

アジア・アフィニティーはアジアにおける中小企業および地域社会団体の成長と保障を重視し、解決策として損害保険および海上保険を提案している。また、子会社を通じ、日本の共済や協同組合部門へ積極的に関与し、海上保険部門を通じて海運保障および社会環境上持続可能なビジネスモデルを提供している。2016年には東南アジアにおける自然災害からの復興、社会と環境に優しい経済発展を支援するため、低所得者層向けマイクロ保険ビジネスを開始した。